

# 梅檀

## 九州・中国地方の豪雨災害

先週から日本各地で豪雨による災害をもたらしている

梅雨前線。今週も引き続き

油断できない状況である。

多くの人命も奪われその

家族等の無念や心の痛みに哀悼の意を送りたい。

さて、沖縄でも台風や豪雨は常である。近年の雨の降り方が異常であることは確かなので、「沖縄でもいつ来ても・・・」である。自然災害は予測外で発生します。お家の方でも「もし・・・」と考え、常に非常事態における家族の避難場所や連絡の取り方など想定して確認しておけると少しは「安心」につながるのではないのでしょうか。



## 新型コロナウイルス第2波か・・・

『米軍感染計百人に』知事、政府へ要請

新型コロナウイルス感染拡大の第2波が、県内でも広がっている。東京や国内の都心でも明らか第2波の襲来であると考えても大げさではない。

政府は、「経済の再生」と「感染拡大防止」のはざままで『GO TO キャンペーン』は感染防止へ最大の配慮し実施するとの見解をTV報道した。

さて、沖縄ではどのような影響が出るだろう。これまで沖縄旅行を計画していたが自粛されていた人々が、いつか夏休み等を利用して沖縄へ足を踏み入れることはだれでも予想できます。

規制が解除されている中、ルールとして「来沖は遠慮ください。」と呼びかけることにはきません。それぞれの家庭で、ショッピングや遠出の用事には感染防止を十分行うよう『注意喚起の呼びかけ』までしかできません。まさに最後は「自己責任ですよ。」ということになります。最後は、家族や一人一人の意識の持ち方です。未知のウィルスに負けないよう頑張りましょう。

## 教師たちの学び

七月十日（金）、1年生の教室で授業研究会が行われました。担任の奈央先生と1年生の道徳のお勉強です。

多くの先生方が見守る中小学校生活がまだ間もない1年生が頑張りました。

「しんせつってなに？」  
「やさしいってなに？」

学習用語も少ない1年生が一生懸命お友達と考えました。「助け合うこと」、「いい気持ちにする」と、子ども達の優しい言葉が教室にこだましました。

1年生に分かる言葉でお話しすることのむつかしさ、子どもの片言の言葉から真意を見つめることのむつかしさ等、

1年生の授業から、我々教師の学びネタは尽きません。奈央先生、1年生の皆さん感謝です。



## 《子どもの声》

●明日6月5日は弟が生まれて五カ月になります。弟は1月5日生まれです。私は4人兄弟の一番上で弟が3人います。明日で五カ月なので離乳食が食べられるようになります。早く食べさせてあげたいです。  
(6年女の子)

●水曜日、クラブ活動が始まりました。私は三線クラブです。今日は特別に地域の方が三線をひいてくれました。とってもきれいな音です。うすうすでした。私は三線クラブに入ってよかったです。  
(4年女の子)

●6月24日水曜日、ぼくは、学校が終わって家に帰ったあと将仁さんと将平さんの3人で西平川の橋の上から釣りをしました。最初はボラはあまりいなかったけどパン粉をまいたらたくさん集まってきました。将仁さんが3匹、ぼくが5匹釣れたのでとても楽しかったです。また今度将仁さんと将平さんと釣りに行けたらいいなと思います。  
(5年男の子)

●僕は、なんで誕生日やお祝いにケーキを食べるのが不思議に思ってた。先生読んでください。月の女神アルテミスの誕生日を祝うためにギリシャ人が円形のハニーケーキを焼いておそなえていたそうです。悪いのは子ども誕生日をねらってやってくると思われていて、誕生日の子どもを守るための儀式にケーキを用意して神さまに願いが届くようにローソクを一日中ともし、その一日がぶじに終わったらみんな食べていたということでした。僕は、生クリームがあまり好きじゃないので去年の誕生日には、大好きなハンバーグにローソクを立ててお祝いしました。今年パンにローソクをつけたいと思います。(3年男の子)

